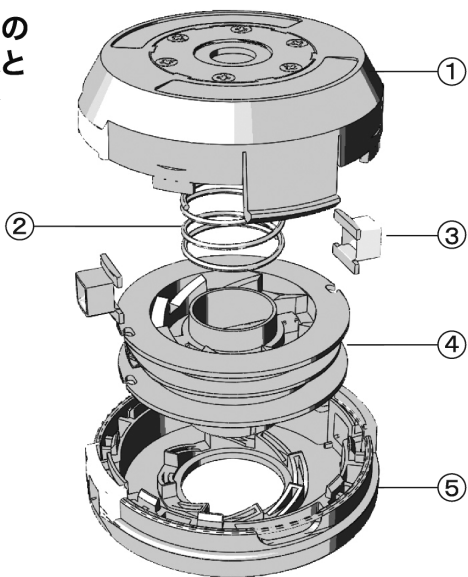
取扱説明書

分解なしで簡単にコードが巻取れるナイロンカッター

この度は、「らく巻」をお買い上げ頂き、誠に有り難うございます。「らく巻」はケースを分解せずにコードが巻き取れるナイロンカッターです。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み頂いて、正しい操作と点検を充分ご理解され、機能を最大限に活用し、快適な作業をして頂きますようお願い申し上げます。

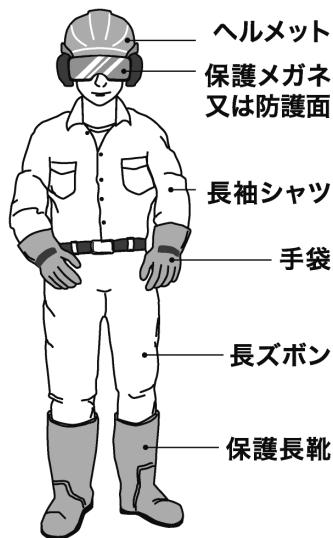
部品の名称と品番

部品表

	名　　称
①	ケースカバー
②	スプリング
③	アイレット
④	ボビン
⑤	カバー

本製品をご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みください。取扱説明書は大切に保管してください。

⚠ 警告 正しくお使いいただくために

[ご使用になる前に]

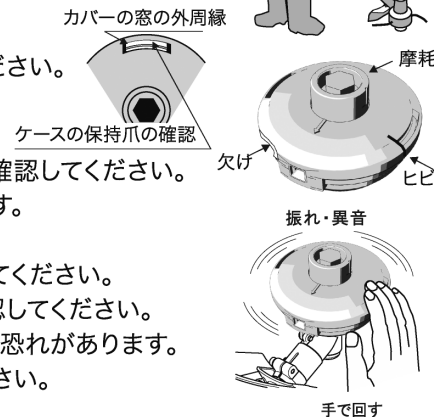
- ●ご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり製品の機能と取扱い上の注意事項を充分ご理解ください。
- ●本製品は、地表の雑草を刈るカッターです。それ以外の用途（木材の切断や植え込みの剪定など）に使用しないでください。
- ●この取扱説明書の内容が理解できない人や子供には、絶対に使わせないでください。
- ●他の人に貸す場合はこの取扱説明書の内容を説明するかこの取扱説明書を一緒にお渡しください。
- ●この取扱説明書は、いつでも必要に応じてみる事ができるように、大切に保管してください。
- ●ご使用の刈払機の取扱説明書に記載の注意事項も、必ず守ってください。
- ●取扱い上の注意事項をよくご理解頂きませんと、ケガをしたり、早期破損、故障などのおそれがあります。

『作業前の注意事項』

①作業中の各飛散物から身を守る

- ●作業時は長袖、長ズボン、ヘルメット、保護メガネ、保護手袋、保護長靴スネ当てなどの防護具を着用してください。
- ●刈払機には適切な位置に、必ず「飛散防護カバー」を装着してください。各防護具を着用されませんとケガや失明をする恐れがありますので必ず着用してください。

②カッター本体の破損・分解・飛散を防止する

カバーの窓の外周縁
ケースの保持爪の確認
摩耗
欠け
ヒビ

- ●カッター本体の欠け、ヒビ割れ、摩耗を点検してください。欠け、ヒビ、摩耗がある場合、必ず「新しい部品」に交換してください。
- ●カッター本体の保持爪が確実にはまっている事を確認してください。はまっていない場合、分解し、飛散の恐れがあります。
- ●刈払機とカッターの取付を点検し、緩んでいる場合取付けボルト（ナット）を締め直し、しっかり固定してください。
- ●カッター本体を手で回し、振れや異音がないか確認してください。そのまま使用しますと回転中に分解、飛散しケガの恐れがあります。又刈払機の故障の原因になりますのでご注意ください。

『作業中の注意事項』

③作業中の各飛散物から人や物品を守る

- ●半径15m以内に人がいない事、物品がない事を確認し作業を始めてください。負傷及び損害の恐れがありますのでこの範囲に入ってきた場合はすぐに作業を中止してください。

15m
危険地帯
10000rpm以下

④本製品の早期摩耗・破損を防ぐ

- ●カッター本体は「毎分10,000回転以上」回さないでください。
- ●草刈作業は「毎分6000回転以上」で使用してください。回転数が低いとコードが伸びず、作業の効率を落とします。
- ●コードの繰り出しは「毎分4500回転以下」の低回転で凸部を軽く地面に打ち当ててください。
- ●カッター本体を石・コンクリート・木の株・ビン・缶などの硬質異物に当てないように注意してください。

- ●異常な振動や音などが出た場合、直ちにエンジンを停止し、点検・修理してください。
- ●刈払機とカッターの取付を点検し緩んでいる場合、取付けボルト（ナット）を締め直し、しっかり固定してください。
- ●草やツルなどの巻き付きを取り除く時、またナイロンコードの取り替えや巻き直し、その他点検の際には必ず刈払機のエンジンを止め、停止確認後おこなってください。カッター本体の回転中に、手を近づけると非常に危険です。

小野市樫山町
0794-62-6964

『刈払機への取付』

①ケースカバーを外し、刈払機の刃受金具の凸部と本体の凹部を合わせて、セットしてください。

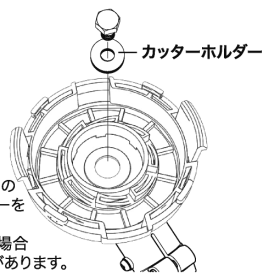
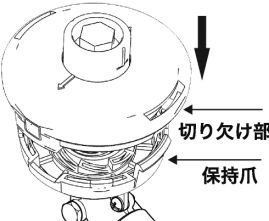
ケースカバーの凹部

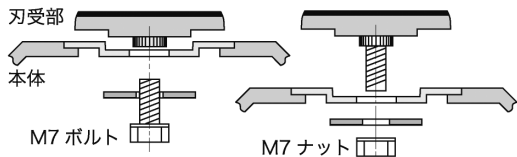
刃受金具の凸部にセットする

②刈払機のボルト（又はナット）を、本体の中央穴へセットする。

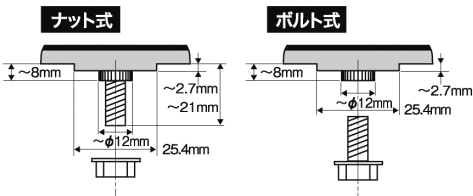
カッターホルダー

＊M8やM7のボルト（又はナット）の場合は、付属のカッターホルダーをご使用ください。
＊カッターホルダーを使用しない場合刈払機により必要になる場合があります。必ず保管してください。

③刈払機の刃受金具をロックし、しっかりと締め付けてください。

④カバーの切れ欠け部と本体の保持爪を合わせてしっかりと組立ててください。

M7ボルト式、及びM7ナット式をご使用の場合

お客様がご利用中の刈払機がM7ボルト式、M7ナット式の場合は、同梱されております座金（下図参照）をご使用いただくことで安心してご利用いただけます。

本製品を使用できない刈払機について

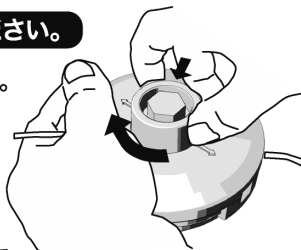
以下の刈払機には本製品を取付けることができません。

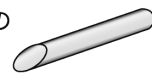
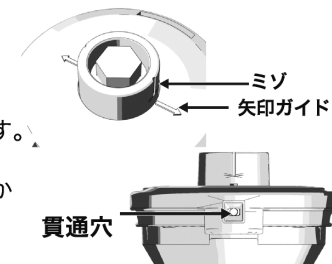
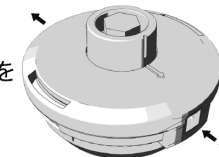
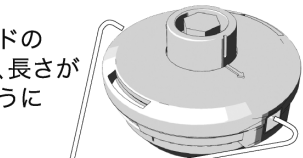
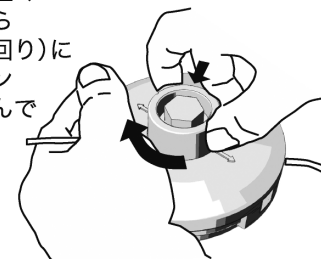
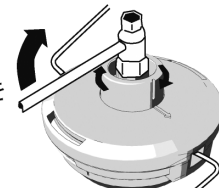
◆刃受部からネジ部先端までの距離が21mmを超える
◆刃受部からスプライン部先端までの距離が8mmを超える
◆スプライン部径がφ12mmを超える
◆刈刃取付部径がφ25.4mm（JIS B9212）以外
◆刈刃取付部高さが2.7mmを超える
◆回転方向がギア上方から見て左（反時計回り）以外

『取替ナイロンコード』

①取替ナイロンコードはたくみ純正を推奨いたします。
巻取り長さ　太さφ2.0～2.4mm・・・・・・・・・約2.0m
　　　　　　太さφ2.8mm・・・・・・・・・・・・・約2.0m

コード太さφ2.8mm以上は使用しないでください。

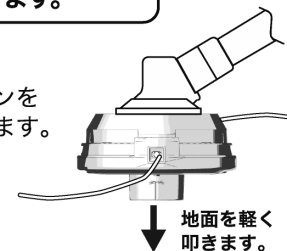
②太さやコードの形状により巻込める長さが異なる場合があります。差込んだ後、手動でボビン凸部を押しながら右回り（時計回り）にまわして、ナイロンコードを巻込んでください。

③ナイロンコードの種類について
ナイロンコードには様々な種類があるため、コードによっては上手く繰り出せなかったり、振動の原因になる場合がありますので、必ずご確認の上ご使用ください。

『コードの交換』

①ナイロンコードの先端を斜めに切り込みます。

②ボビン凸部を回してミゾと矢印ガイドを合わす。アイレットを覗き、穴が貫通しているか確認します。

③アイレットからナイロンコードを差込みます。

④ナイロンコードの両端をそろえ、長さが均等になるように揃えます。

⑤ボビン凸部を軽く押し込みながら右回り（時計回り）に回してナイロンコードを巻込んでいきます。

⑥手巻きがきつい場合はボビン凸部の溝にプラグレンチ(19mm) をはめ込むと簡単に巻込めます。

注意：必要以上にナイロンコードを長くして使用すると、エンジンに過負荷がかかり、エンジン焼き付きの原因となります。

『作業中のナイロンコードの出し方』

①作業中、ナイロンコードが切れたり、短くなった時はエンジンを低速回転にしてからカッター本体の底部で地面を軽く叩きます。一回叩くと、約2～2.5cmナイロンコードが繰出されます。

●次の場合ナイロンコードが出ない場合があります。
分解して確認してください。
・ナイロンコードが残り少ない場合。
・本体の中でナイロンコード同士が溶着したり絡まった場合。
・ナイロンコードを短くしすぎて、コードの先端が本体の中に入ってしまった場合

『本体の分解』

①エンジンを停止し、カッター本体の回転が止まるのを確認してください。

②カッター本体の円周部には「爪」が２つありますので、どちらか一方をマイナスドライバーや、先の薄い物を使って「爪」を押し込み外してください。
この際、手にケガをしないように注意してください。

③もう片方の「爪」も押し込んで、カバーを取り外します。

④スプリングとボビンを取り外します。この時スプリングを紛失しないように注意してください。